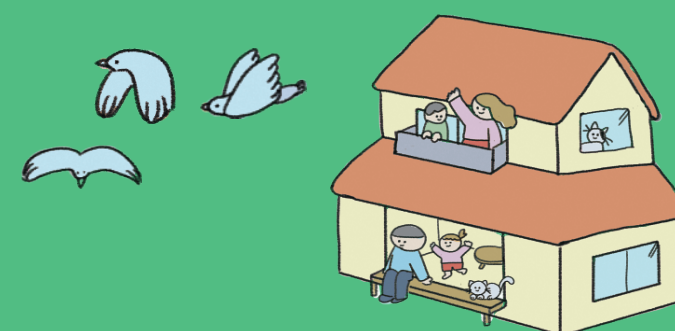
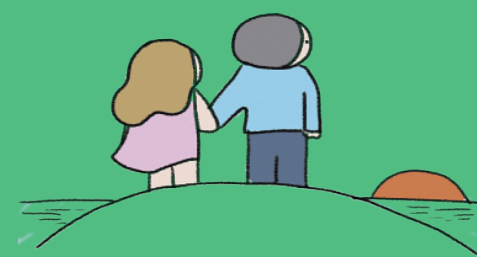


概要版

2025 - 2029



未来を 見つめる ゆのまえ 創り

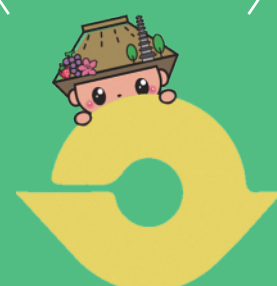


YUNOMAE CREATION
WITH AN EYE
TO THE FUTURE



湯前町

正式版は左の
QRコードから！



第3期湯前町総合戦略 - 概要版 -

発行 | 湯前町

住所 | 熊本県球磨郡湯前町1989-1

電話 | 0966-43-4111

あなたも大切な 登場人物のひとりです。

この町にある大切なもの。それは、豊かな自然や文化、そして人々の温かな暮らしです。私たち湯前町は、少子高齢化や人口減少といった社会課題から大切なものを守り、未来へつないでいくために、『第3期湯前町総合戦略』を策定しました。本町の人口は、長期的予測では減少傾向ではありますが、これまでの『総合戦略』は、一定の成果をあげています。こうしたことから第3期は、第2期まで進めてきた地方創生の取り組みに、国の掲げる『デジタル田園都市国家構想』や、『第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略』の要素を取り入れ、デジタルの力を活用し、時代の変化やニーズに対応した施策を推進していきます。誰もが笑顔で安心して暮らせる町であり続けるために。この総合戦略は、そんな未来を共に描く道しるべです。もちろんあなたも登場人物のひとり。一緒に、湯前町の未来を創造しませんか？

みんなで 未来の湯前町を 創造しよう。

計画期間

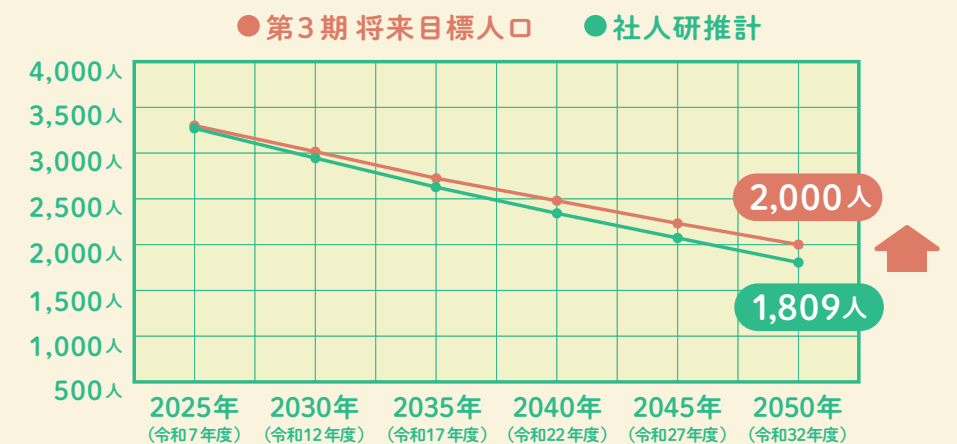
総合戦略の期間は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とします。
(ただし今後は、湯前町総合計画策定時に合わせて総合戦略の更新を行えるものとします。)

年度	2020年 (令和2年度)	2021年 (令和3年度)	2022年 (令和4年度)	2023年 (令和5年度)	2024年 (令和6年度)	2025年 (令和7年度)	2026年 (令和8年度)	2027年 (令和9年度)	2028年 (令和10年度)	2029年 (令和11年度)
湯前町総合戦略	第2期(5年間)					第3期(5年間)				
湯前町総合計画	第5次	第6次(7年間) ※前期(3年間) / 後期(4年間)								第7次

将来目標人口

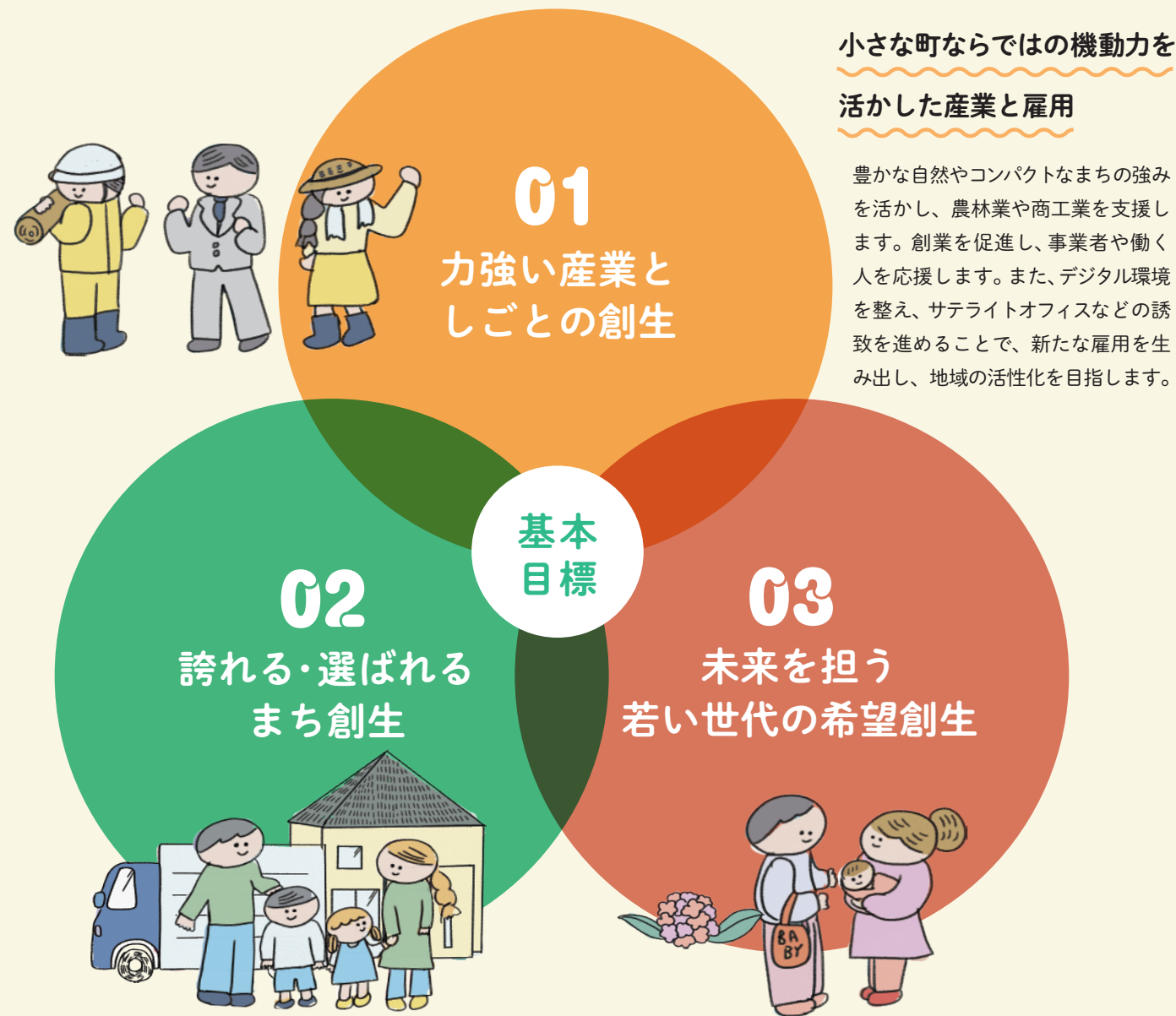
湯前町は、令和32(2050)年に人口2,000人を維持することを目指しています。そのために、転出を抑制し、移住を促進するとともに、子育てしやすい環境を整えていきます。特に、子どもを持つ世代の転入を年間30人増やすことを目標に、子育て世代の定住を応援します。

※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計値に基づいた出生率を維持し、子育て支援などを通じて人口減少を抑えます



第3期湯前町総合戦略の基本目標

基本目標とは、まちの将来を見据え、どのような方向へ進むべきかを示す大切な指針です。第3期湯前町総合戦略では、国のデジタル田園都市国家構想の考え方を取り入れ、デジタルの力を活用しながら、地域の魅力を高め、活力あるまちづくりを進めるための3つの基本目標を設定しました。これにより、仕事や暮らしの充実を図り、住み続けたい、選ばれるまちを目指します。限られた財源の中で優先順位をつけながら、地域経済の活性化と人口減少対策に取り組んでいきます。



人の流れやにぎわいあふれる
安心して暮らせる町へ

豊かな地域資源を活かして、独自の魅力を創り、それを町内外へ発信することで、人の流れやにぎわいを生み出します。また、防災力の強化や医療・福祉の充実にも取り組み、住みよさを実感できる環境を整え、移住・定住の促進します。

ライフステージに応じた
支援で若い世代を応援

若い世代が安心して子どもを生み育てられるよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援を充実させます。小中一貫教育をはじめ、地域の特色を活かした質の高い教育を推進し、人間性豊かで生きる力を持つ子どもを育てます。



数值目標

数字でみる湯前町の今と未来

数値目標

数字でみる湯前町の今と未来

01

力強い産業としごとの創生と

基本構想における基準所得を達成した農業者数

基準値

9人

令和5年度

目標値

15人

令和11年度

商工業者事業者数

基準値

168事業者

令和5年度

目標値

168事業者

令和11年度

02

誇れる・選ばれるまち創生

社会増減数

基準値

△11人

令和5年度

目標値

31人

令和11年度

湯前町に住み続けたい割合

基準値

49.5%

令和5年度

目標値

60%

令和11年度

03

未来を担う若い世代の希望創生

年少人口率

基準値

10%

令和5年度

目標値

11.5%

令和11年度

指標

認定農業者数

50人

50人

新規就農者数

0人

5人(累計)

林業従事者数

77人

90人

小規模事業者持続化補助金採択件数

0件

20件(累計)

商工業者事業者数

168事業者

168事業者

創業者数(農林商工業)

1人

5人(累計)

サテライトオフィス及びコワーキングスペース利用者数

0人

3,400人(累計)

企業誘致数

1件

11件(累計)

観光入込客数

122,589人

222,589人

宿泊者数

7,178人

8,000人

関係人口数

6,151人

10,000人

ホームページ閲覧者数

2,458,265 PV

2,800,000 PV

SNS登録者数

10,687 ユーザー

20,000 ユーザー

入館者数(まんが美術館・図書館)

8,000人

9,000人

転入者数(住民基本台帳)

87人

148人

防災士の人数

16名

23名(累計)

地域コミュニティ活動参加者数

4,958人

5,100人

健康寿命(平均自立期間)

男性 76.4 歳
女性 85.1 歳

男性 78.0 歳
女性 86.0 歳

メタボリックシンドローム該当者の割合

26.1%

24.2%

毎日の生活に満足している高齢者の割合

47.9%

50.0%

町営住宅建設戸数

160戸

167戸

個人住宅建設戸数(累計)

0戸

40戸

マイナンバーカードの保有枚数率

77.5%

92%

出会いの場への参加者数

4人(累計)
男性2人 女性2人

20人(累計)
男性10人 女性10人

子育て世帯数

219世帯

219世帯

子育て世帯の子ども数

2,027人/世帯

2,027人/世帯

遊び場の整備

0カ所

2カ所

小中一貫教育に対する保護者の満足度

80%

85%

地域学校協働活動参加者数

490人

1,000人

力強い産業としごとの創生



〔産業・雇用〕

施策

1

地域産業力の向上のための支援

町の地域経済を活性化させるために、農林業や商工業、観光業などの地元産業を強化し、成長する産業や地域資源を活用した事業を支援します。また、地域経済を支える人材の育成や後継者対策を行い、町で「働きたい」「働きたい」と思える仕事を作り出すことに取り組みます。



具体的な事業

1

農業機械・施設導入支援事業

経営を広げ発展させたい農家にとって、機械や施設の導入は欠かせません。そのため、必要な農業用機械や施設の導入費用を補助し、規模拡大や設備投資の意欲向上を支援します。



2

農業生産性向上事業

農繁期などに、家族以外の労働者を臨時雇用する際の経費を補助することで、農家の負担を軽減します。また、スマート農業に関連する各種支援を行うことで、農作業の省力化による農家の負担軽減につながります。

3

森林整備事業

町有林の人工造林や下刈り、間伐を行い、林業従事者の雇用創出を進めます。さらに、森林環境譲与税を使い、民有林の保育間伐などにかかる経費を支援し、森林の保全と素材生産量の増加を目指します。



4

畜産素牛改良促進事業

繁殖や肥育、酪農用の優れた素牛の導入や自家保留費用を補助し、家畜改良を進めます。また、その結果を活用し、繁殖用牛を改良して農家間の協力を強化し、畜産業の質向上と農家の収入増加を目指します。

5

農産加工施設の活性化事業

特産品の開発や販路開拓のための検証を行い、既存の販路を拡大したり、新たな商品を開発していきます。また、商談会に積極的に参加し、販売の機会を増やすことで、販売額アップを目指します。

7

湯前町小規模事業者持続化事業

小規模事業者が安定して経営が続けられるよう、経営計画に基づいた取り組みに必要な経費の一部を補助し、販路開拓への意欲を高めて、設備の改善や商品の魅力向上を支援することで、収益アップにつなげます。

6

農業後継者確保対策事業

新規就農者や親元就農者が自立できるよう、国の事業を活用し、技術習得や収入確保を支援します。対象外の親元就農者には町独自で給付を行い、就農意欲を高めて担い手を確保します。

8

湯前町事業承継サポート事業

高齢化や後継者不足に対応するため、親族内承継や第三者承継を希望する後継者に対し、担い手の育成や技術の継承に必要な支援を行います。これにより、事業の円滑な引き継ぎと地域産業の継続を促します。

施策

2

安定した雇用創出のための支援

地域に人が定着するために、創業支援やサテライトオフィス誘致を進め、安定した仕事を提供します。さらに、若い世代やU・I・Jターン希望者の働きやすい環境も整えます。

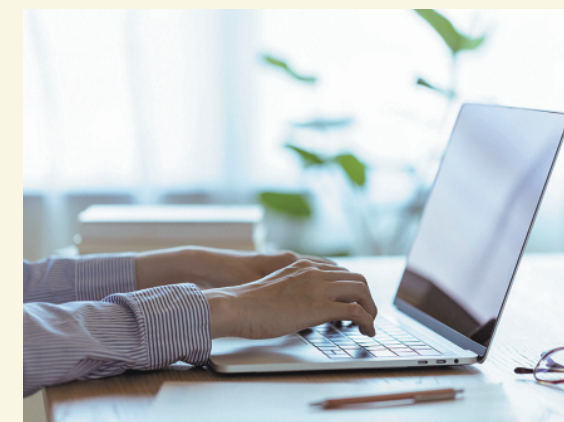


具体的な事業

1

湯前町しごと創生応援事業

湯前町の創業支援計画に基づき、創業や事業運営に関する相談窓口の連携を強化し、支援体制を充実させます。また、若い世代を中心に新たな仕事を生み出し、地域の雇用を増やします。



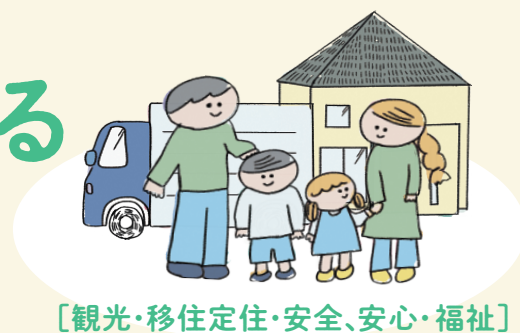
2

企業誘致促進事業

リモートワークの普及に対応し、地方でも働ける環境を整えます。そのため、ネット環境やテレワーク施設を充実させ、企業の進出を支援。サテライトオフィスの誘致を進め、地域活性化と雇用創出を目指します。



誇れる・選ばれる まち創生



〔観光・移住定住・安全・安心・福祉〕

施策

1

魅力づくりと発信

湯前町は、くま川鉄道の終着駅や温泉、農林水産物、球磨焼酎、歴史文化財などの魅力を発信します。広域観光ルートの開発や湯前駅周辺の再整備を進め、関係人口を拡大し、移住・定住につなげます。



具体的な事業

1

終着駅効果と地域資源を活用した若者が魅力を感じるまちづくり事業

湯前駅周辺を再整備し、終着駅効果と町の特色ある地域資源を活かして、若者が魅力を感じるまちづくりを進めます。また、デジタル技術を活用した誘客に努めます。

2

人吉球磨広域観光連携事業

「人吉球磨観光地域づくり協議会」が策定する「観光地域づくり戦略」に基づき、人吉球磨 10 市町村が一体となった地域連携 DMO による観光地域づくりを推進します。

4

歴史文化財保存活用事業

湯前町に残されているお寺やお堂といった国指定重要文化財や、伝統芸能、伝統行事などを保存・継承し、観光資源として活かすことで、郷土への誇りを育み、関係人口の創出を目指します。

6

企業・法人等との協働の森づくり事業

協定を結んだ企業の社員やその家族に、森林保全活動へ参加いただき、森林の公益的な機能を理解してもらうとともに、湯前町の魅力を発信し、継続的で良好な関係を構築します。

3

「関係人口」の拡大

ふるさと会の会員や寄附者に町の情報や寄附実績を発信し、関係を継続します。さらに、企業の森づくりやワーケーション、大学連携を進め、関係人口の拡大に努めます。

5

MANGA を活用した賑わいのあるまちづくり事業

風刺漫画に始まり、30 年以上推進してきた「まんがのまちづくり」を、様々な事業展開によって発展させ、まんが・アニメを活用した賑わいのあるまちづくりを推進します。

7

ホームページや SNS を活用した情報発信事業

公式サイトや SNS を活用し、観光・移住情報を発信することで、知名度向上と集客増を目指します。また、町関係者や住民の SNS も活用し、地域資源を PR して関心を高めます。

施策

2

移住・定住の促進

若者や子育て世代を対象に支援策を提供します。お試し住宅や空き家バンクを整備し、移住を促進します。



具体的な事業

1

住宅・空き家リフォーム等補助事業

本町に住み続けていただけるよう、また町外からの移住希望者にも対応できるよう、住宅のリフォームや空き家の解体、リフォーム等にかかる費用の補助を行い、移住・定住の促進につなげます。

2

湯前町移住支援事業

移住者に向けた地域情報の発信や、相談会などを開催。また、お試し住宅を活用し、移住・定住を促進します。

3

地域おこし協力隊活用事業

地域の課題解決のために活動できる隊員を募集し、個々のスキルアップや資格の取得をサポートすることで、任期後の定住を促進します。

施策

3

安全・安心で快適な住みよいまちづくり

行政と住民が連携して防災・減災対策を進め、全世代が健康で安全に暮らせるまちづくりを推進します。



マイナ
ピット！

具体的な事業

1

災害に強いまちづくり事業

住民組織との連携や防災訓練により防災意識を高めます。また、デジタル技術を活用した情報伝達を行い安心なまちづくりを進めます。

3

健康増進事業

湯前町健康増進計画に基づき、子どもから高齢者までを対象に健康増進に取り組み、地域全体で健康的な生活を支援します。

5

宅地分譲地整備事業

町中心地付近にある町有地を活用し、宅地分譲を行うことで、新たな住民の受け入れ体制を強化し、移住・定住の促進を図ります。

7

人吉球磨定住自立圏共生ビジョンの推進

近隣市町村が協力し地域の活性化を目指すため、湯前町では人吉市との協定に基づき、安心・快適に暮らせる定住環境づくりを進めます。

2

スポーツを通じた地域コミュニティ育成事業

地域スポーツ団体の活性化と学校部活動の社会体育移行により運動の機会を増やし、海洋センターを活用して健康づくりを進めます。

4

町営住宅建設事業

世代別のニーズに合わせた町営住宅を建設し、町外からの移住者の受け入れと、町外への人口流出を防ぐことを目指します。

6

新築応援事業

町内に新築住宅を建設する際に、費用の一部を補助することで、移住・定住を促進し、町の人口増加と地域の活性化を目指します。

8

書かない窓口サービス事業

申請書自動作成システムを導入し、マイナンバーカードを利用して申請書の発行をスムーズに行うことで、住民の利便性を高めます。

未来を担う 若い世代の希望創生



[結婚・子育て
・教育]

施策

1

子どもを安心して生み育てられる環境の整備

若者の結婚を支援するため、出会いの場を提供します。また、妊娠・出産・子育ての負担を軽減し、支援を充実させ、「湯前町で子育てしたい」と思える環境を整えます。



具体的な事業

1 結婚新生活支援事業

新生活を始める新婚世帯を対象に、結婚に伴う引っ越し費用や住宅取得費用、家賃などの新生活にかかる費用を支援し、結婚を希望する若年層の不安解消を図ります。

2 出会いの場の創出事業

民間企業や専門コーディネーターと連携し、イベントや婚活セミナー、スポーツ交流などを通じて、結婚希望者への専門的な支援を行い、出会いの機会を広げます。

3 不妊治療費助成事業

高額な不妊治療にかかる費用の一部を助成し、経済的負担を軽減することで、妊娠を望むご夫婦が安心して治療を受けられるよう支援します。

4 出生祝い金事業

本町在住で、出生後 5 年以上居住すると見込まれる子の養育者に対し、出生児一人につき一律 15 万円を交付し、子育て支援を行います。

5 母子保健事業

妊婦健診や新生児聴覚検査の費用助成を行い、経済的負担を軽減します。また、乳幼児健診や育児・発達相談を通じて、健康増進とともに育児の不安解消に努めます。

6 病児・病後児保育事業

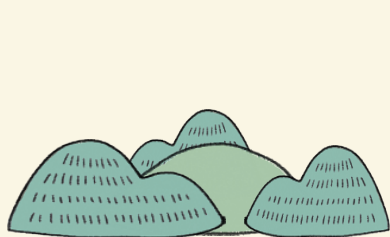
小学校 6 年生までの児童を対象に、病気や回復期で家庭での保育が難しい場合、一時的に施設で預かるサービスを提供し、子育てしやすい環境づくりを目指します。

7 子ども医療費助成事業

本町在住の 0 歳から 18 歳まで (18 歳になった年度 3 月 31 日まで) の子どもに対し、保険適用分の医療費を無償化することで子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

8 ひとり親家庭等医療費助成事業

ひとり親家庭などの子どもが 20 歳になるまで、親子の保険適用医療費を助成し、経済的負担を軽減して安心できる医療環境を整えます。



9

母子手帳のデジタル化事業

母子手帳アプリを活用して情報発信を行い、保護者が健診結果や予防接種を管理しやすい環境を整え、子育てを支援します。

11

入学祝い金事業

小・中学校に入学する児童生徒に祝い金を給付し、子育て家庭の負担を軽減して、子育てしやすい環境を整えます。

13

修学旅行補助事業

小・中学校に在籍する児童生徒に修学旅行補助金を支給し、子育て家庭の負担を軽減して、子育てしやすい環境を整えます。

15

入学準備・奨学金事業

経済的理由で就学が難しい進学希望者に、奨学金や入学準備金の貸付けを行うことで、教育機会の均等化と有用な人材の育成を図ります。

10

保育料等無償化事業

少子化・人口減少の流れを変え、地域全体で子どもを育てるため、保育料や副食費を無償化し、子育て家庭の負担を軽減します。

12

学校給食費補助事業

湯前小・中学校に在籍する児童生徒の給食費を助成し、子育て家庭の負担を軽減して、子育てしやすい環境を整えます。

14

高等学校等通学費補助事業

人吉球磨管内の高校等に通う生徒の定期代や自転車購入を支援し、子育て家庭の負担軽減と公共交通機関の利用を促進します。

16

遊び場整備事業

子ども議会などで要望の多かった遊び場を整備し、安心して子どもを遊ばせられる環境を確保し、健康的な発育を促します。



施策

2

湯前ならではの特色ある教育の展開

次代を担う人材育成のため、小中一貫教育に基づき、ICT 活用や学業とスポーツ・文化活動の両立を目指します。また、地域への理解を深め、地域協働を通じた人材育成に努めます。



具体的な事業

1

小中一貫教育の推進

湯前小・中学校の教員が共通の教育目標を共有し、系統的な教育課程を編成する中で、合同行事や授業を推進し、小中学校間の円滑な接続を図ります。

2

地域学校協働活動の推進

地域住民による学校支援や、学校による地域貢献活動に取り組むことによって、双方が連携した地域づくり・人づくりを実現します。